

Air bike

取扱説明書

bicycle-209assist 電動アシスト自転車

自転車を安全・快適にご使用いただくため必ずお読みください。



いつまでも安全にお乗りいただくために、
電動アシスト自転車の正しいご理解とご使用をお願いいたします。

◆仕様、その他の変更などにより、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

この度は〈Air bike〉をお求めいただきまして、
誠にありがとうございます。

〈Air bike〉は、電動アシスト走行機能を搭載した自転車です。
ご使用の前に、安全に関するご注意をよくお読みの上、
正しくお使いください。

» INDEX

P3	自転車運転者講習制度
P4	ご使用の前に
P5	交通ルール
P6	お手入れと保管
P7	各部名称
P8～14	組み立てについて
P15	主電源・トルクセンサー
P16	チャイルドシート・リアキャリア
P17～19	バッテリー充電手順
P20	空気圧
P21	防犯登録
P22	修理サービス案内
P23	修理サービス保証書 / 商品仕様

■自転車に歩行者の感覚で乗るのはおやめください。

公道を走行する乗物です。周囲の交通環境を的確に判断した乗り方をしなければ、自分・周囲を含めての重大な事故につながる場合があります。

■重要なのは、自分の自転車に慣れることです。

日頃の手入れや定期的な点検が必要です。
修理などについてご不明な点ありましたら、販売店までご連絡をください。（P19参照）

改正道路交通法の施行（平成27年6月1日）により、自転車の運転に関して、信号無視などの危険なルール違反を繰り返すと、公安委員会から自転車運転者講習の受講を命ぜられる制度です。

一定の危険な違反行為をして検挙され、または事故を起こした。

《3年以内に2回以上》

〈公安委員会が命じる〉

自転車運転者講習を受講

- 講習時間：3時間
- 手数料：5,700円

受講に従わない場合

- 5万円以下の罰金

■ 自転車運転者講習の対象となる「危険行為」とは

1 信号無視

[法 第7条違反]

信号機の信号などに従わない行為。



2 通行禁止違反

[法 第8条第1項違反]

道路標識などで自転車の通行が禁止されている道路や場所（歩行者天国など）を通行する行為。



3 歩行者用道路での徐行違反

[法 第9条違反]

自転車の通行が認められている歩行者道路を通行する際に、歩行者に注意をせず、徐行しないなどの行為。



4 通行区分違反

[法 第17条第1項、第4項又は第6項違反]

車道の右側通行や、右側に設置された路側帯を通行するなどの行為。



5 路側帯での歩行者の通行妨害

[法 第17条の2第2項違反]

自転車が通行できる路側帯で歩行者の通行を妨げるような速度と方法で通行する行為。



6 遮断踏切への立ち入り

[法 第33条第2項違反]

遮断機が閉じていたり、閉じようとしている踏切、警報機が鳴っている時に踏切に立ち入る行為。



7 交差点安全進行義務違反等

[法 第39条違反]

信号のない交差点で、左からくる車両や優先道路などを通行する車両などの進行を妨害する行為。



8 交差点優先車妨害等

[法 第37条違反]

車道の右側通行や、右側に設置された路側帯を通行するなどの行為。



9 環状交差点安全進行義務違反等

[法 第37条の2違反]

環状交差点内を通行する車両等の進行を妨害する行為など。



10 指定場所一時不停止等

[法 第43条違反]

一時停止の標識などを無視して進行する行為。



11 歩道での歩行者妨害等

[法 第63条の4第2項違反]

車道寄りを徐行しなかったり、歩行者の通行を妨害するなどの行為。



12 制動装置不良自転車の運転

[法 第63条の9第1違反]

ブレーキ装置がなかったり、ブレーキの性能が不良な自転車で走行する行為。



13 酒酔い運転

[法 第65条第1項違反]

酒に酔った状態で自転車お運転する行為。



14 安全運転義務違反

[法 第70条違反]

ハンドルやブレーキ等を確実に操作せず、また他人に危害を及ぼすような速度や方法で運転する行為。
※携帯電話を使いながら通行して、事故を起こした場合にも適用されることがあります。



自転車に乗られるときは、
交通ルールを守り
安全に楽しく乗りましょう。

本製品は組み立てが必要です。（組立完成品でご購入のお客様は不要です。）
組み立てが完了し、自転車のご乗車前には必ず説明書の記載事項をご確認いただきまして、
自転車の点検・調整を行った上でご乗車ください。

ご使用の前に

- 未組立や未調整の自転車には乗らないでください。
- ブレーキやハンドル・サドル・車輪の固定、タイヤの空気圧などの乗車前点検は必ず行ってください。
- 各部品が正常に取り付けられていることをご確認ください。（「各部名称」ページ参照）
- 改造しないでください。
- 安全に長くお乗りいただくためにも、定期的に弊社または自転車の整備士、それと同様の技術を有する者による点検を受けてください。
- 購入後2ヶ月以内は、ネジや各取り付け部品のなじみなどの影響でゆるみが生じやすくなっています。
ネジ等にゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、増し締めを行ってください。
- 初期の点検・確認をせずに乗車した場合の故障は有償修理となります。
- 水圧のかかる洗車や雨天での使用、雨つゆや直射日光の当たるような場所での保管は、錆や故障の原因となる場合がありますので、十分ご注意ください。
- 不安定な場所に自転車を保管しないでください。
- タイヤの空気入れは米式バルブです。ホームセンター・自転車販売店でお求めいただけます。
- 飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調の悪いときは乗らないでください。
- ハンドルに手荷物やペットのリードをつないでの使用はやめてください。
- 滑りやすい靴やかかとの高い靴、サンダル等を履いて乗らないでください。
ペダルから足がずれやすくなり、大変危険です。
- かさをさして乗ったり、片手運転や手放し運転はしないでください。
- かさやステッキなどの棒状のものをぶら下げたり、差し込んだりしないでください。
- 下り坂や濡れた路面等は大変危険です。スピードを出しすぎないでください。
- スピードを出しすぎて急ハンドルをきることはおやめください。
- 自動車の横を走行するときは、必ず安全を確認してください。
- 凹凸の激しいところでは乗らないでください。
- 巻き込まれやすい服装（裾の長い服や生地薄い服、マフラー等）では乗らないでください。
- 乱暴（アクロバットの）な運転はしないでください。
- 視界の悪いときや夜間は、無灯火で乗らないでください。
- 自転車の走行以外の目的では使用しないでください。
- 交換部品は必ず純正部品を使ってください。
異常がある場合はご使用をとりやめ、すぐに販売店へご相談ください。

注 ■前輪ロックに注意してください。

前輪ロックとは、走行中に前輪の回転が急に停止してしまう状態を指します。
衝突と同程度の衝撃があり、前のめりに転倒するなど非常に危険です。

※前輪がロックされる状況は下記のものがあります。

○走行中に急ブレーキをかける。（スリップして転倒事故の原因になります。）

■交通ルールを守りましょう。〈道路を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。〉

- 見通しの悪い交差点や、狭い道から広い道に出るときは、一時停止して左右の安全を確認してください。
- 子供の飛び出しに注意（公園や学校のあるところでは、子供の飛び出しに十分注意してください。）
- 視界の悪いとき（必ず前照灯をつけてください。また、前照灯は早めにつけてください。）
- 停止するとき（右腕を斜め下に出して停止してください。）
- 左折するとき（右腕のひじを直角に上げ、速度を落として曲がってください。）
- 交差点では左に曲がる車に注意
（左に曲がる車のすぐ横は、巻き込まれるおそれがありますので十分注意してください。）
- 車道の左側を必ず一列で走行してください。
- 信号機のない交差点で右折するとき
（右腕を水平にし手のひらを下にして、向こう側まで進んでから右折してください。）
- 歩道を通行できるところでは（歩行者優先で、車道寄りを徐行してください。）
- 車のすぐ横を走るとき
（急にドアが開いたり、車の陰から人が出てくることがありますので十分注意してください。）
- 車のすぐ後ろを走るとき
（前方が見えにくかったり、車が急に止まったり、曲がったりすることがありますので十分注意してください。安全な距離を保ってください。）
- 踏切では（一時停止して左右の安全を確認してください。）

■道路標識を守りましょう。



禁 止 事 項

※4ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。
（重複している項目もございます。）

- カーブではスピードを出さないでください。曲がり切れずに転倒する等の事故を起こす可能性があります。十分に速度を落としてからカーブに入ってください。
- 走行中にブレーキワイヤを引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。事故の原因となります。
- カーブでは曲がる側のペダルを下にしたまま走行しないでください。ペダルが地面と接触して、転倒や事故の原因となります。
- 滑りやすい場所や状況では使用しないでください。雪道や凍結した道、鉄板やマンホールの上など、滑りやすい場所では一旦自転車を降りて、押して通るか避けて通るなどで注意ください。
- 片側のみのブレーキ操作はおやめください。走行バランスを崩すことがあり、大変危険です。
- 凹凸のある道、段差の激しい道は走らないでください。バランスを失うこともあり大変危険です。階段や軌道敷内の走行もおやめください。
- 2人乗りやアクロバティックな使用はおやめください。2人乗りは法令により禁止されています。
- 後輪にハブステップを付けての二人乗りはおやめください。保証の適用外にもなりますので、十分ご注意ください。
- 自転車を改造しないでください。改造した自転車は保証適用外になります。
- 濡れた道や下り坂では、スピードを出さないでください。適切なスピード（徐行）と余裕のあるブレーキ操作を心掛けてください。
- 荷物を手やハンドルにかけての乗車はしないでください。また、かさやステッキや釣竿など、長尺物を自転車の挟み込んだり下げたりはしないでください。バランスを崩したり、回転部分に挟まったりして車輪をロックさせることになるなど、大変危険です。

禁 止 事 項

※4ページの「ご使用の前に」に記載されている注意事項と併せてご確認ください。
(重複している項目もございます。)

- 踏み台に使用するなど、本来の使用目的（走行）以外での使用はおやめください。転倒やけがの原因となります。
- 山岳・河川等で使用しないでください。ハンドルやフレーム、自転車の重要部分に重大なダメージを与えたり、破損の原因となります。これらの場所や類似する場所での走行もおやめください。
- 薬やアルコール等を摂取した状態で乗らないでください。また、体調の悪いとき（体力の低下や疲労時）の乗車もお控えください。
- 自転車に異常があるときは使用しないでください。車体や部品の破損原因となったり、転倒や事故など深刻な事態を引き起こします。
- ブレーキパッド、ブレーキシユ、リムに注油はしないでください。ブレーキが正常に作動せず、大変危険です。
- 二台以上で走行するときは、横にならんでの走行はおやめください。
- イヤフォン、ヘッドフォンを使用しての走行はおやめください。

**自転車に異常を感じたら、ただちに使用を中止し、点検・整備を行ってください。
修理が必要な場合は、お早めに販売店にご相談ください。**

お手入れと保管について

- 走行後は乾いた布やブラシで、泥や土・埃などを落としてください。
- 雨に濡れたときは、乾いた布でよく拭いた後、ブレーキレバー可動部、チェーン、ギヤに注油してください。
- メッキ部分は乾いた布でよく拭いた後に、錆止め油もしくは機械油を染み込ませた布で拭いてください。最後に表面に余分な油が残らないよう、再度乾いた布で仕上げ拭きしてください。
- 塗装面はよく汚れを落とした後に乾いた布で拭き、自転車用ワックス等を使用して、塗装を保護してください。なお、塗装面にはシンナーなど有機溶剤を使わないでください。
- 高温や多湿の場所には、保管しないでください。錆や部品変形の原因になります。
- 雨の当たる場所では、カバーをかぶせるなど雨が当たらないように保管してください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。塗装面やタイヤを含む樹脂部品の劣化を早めます。
- サドルやブレーキレバー、グリップには注油しないでください。操作の際、滑ることがあり、大変危険です。
- タイヤには油をつけないでください。劣化やスリップの原因となり、大変危険です。
- リムやブレーキシユなどの制動面には注油しないでください。正常に作動しなくなり、大変危険です。

消耗品と修理について

- タイヤ、ブレーキワイヤ、ブレーキシユ、バッテリー等は消耗品です。お求めの際には、販売店までお問い合わせください。価格及び納期をご案内させていただきます。※在庫状況によりましては、海外の工場より取り寄せとなる場合があります。その場合は、入荷まで1ヶ月以上お待ちいただくこともあります。

〈お取り換えの目安〉

- ブレーキワイヤ：ブレーキワイヤに錆が見られたり、ほつれがある場合。あるいは、1年以上使用している場合。
- タイヤ：タイヤの接地面の溝が一部でもなくなったとき、あるいはキズや亀裂、シワが現れたとき。
- ブレーキシユ：制動面の溝が残り1mm以下になったとき。
- バッテリー：1回の充電での走行距離が大幅に短くなって来たとき。
(ご使用状況や保管状況によって異なりますが、ご使用開始から1年目より徐々に消耗がみられるようになります。)

- お求めの自転車は5年間の安心修理サービスが付いております。詳細は22ページのご案内をご確認ください。

主な各部の名称



残量計



バッテリーロックキー



電源スイッチ



トルクセンサー



ホイールロック

付属品

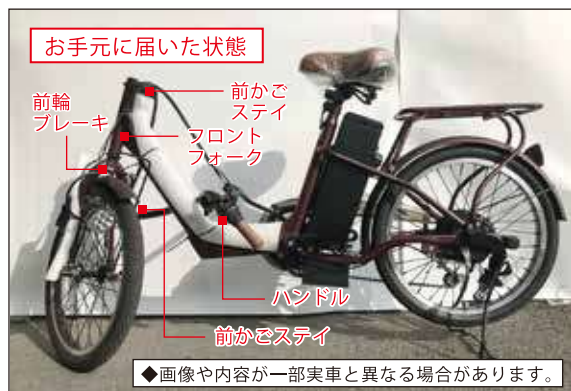
◎取扱説明書 ◎充電器 ◎ペダル ◎サドル ◎工具 ◎鍵

●残量計について

フル充電時には、充電メーターがすべて点灯します。残量が少なくなるにつれて右からランプが消灯していきます。

ランプが残り2つになったときを目安にバッテリー充電を行ってください。

この自転車はパーツが分かれて梱包されており、お客様に組み立て・調整をしていただく必要がありますのでご案内いたします。なお、付属以外の工具につきましては、お客様自身でご用意いただきますようお願いいたします。



☆ 組み立ての手順の動画が見られます ☆

<http://dream.santasan.net/bicycle-setup/>



QRコードを読み込んでアクセスして頂きますと、自転車の組み立てとブレーキ調整の説明動画をご覧頂けます。

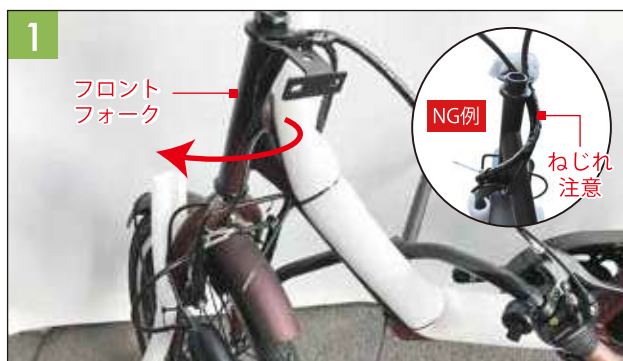
※お持ちの車種を選んで下さい。



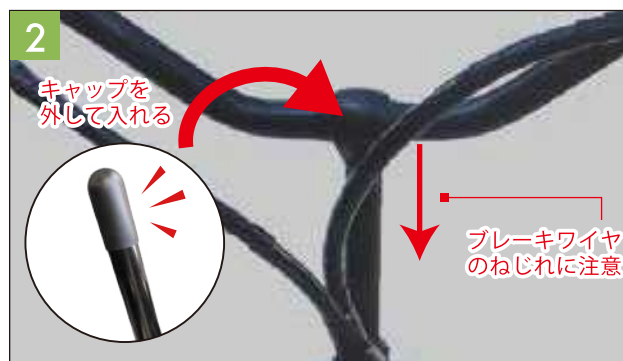
※ネジで固定する部分はしっかり奥まで増し締めして下さい。

※乗車する前に、必ず各部ネジの固定にゆるみがないか、点検・確認を行ってください。

ハンドルの取付



はじめに前輪とフロントフォークが、後ろ向きになっていますので、矢印の方向に回転させてください。



ハンドルのキャップを外して、フロントフォークに差し込み、高さとお向きを合わせます。



ハンドルを差し込み、ハンドルが前タイヤに対し90度(直角)になるように方向を合わせます。

⚠ 注意:

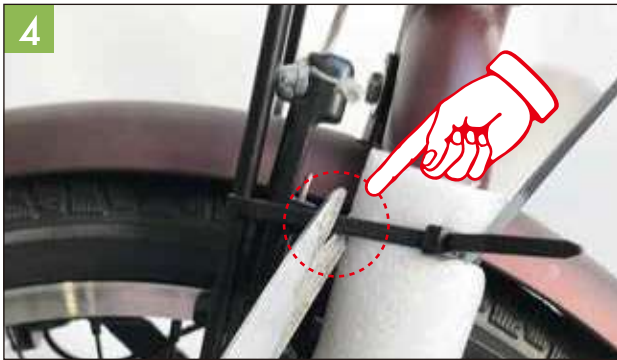
ハンドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。ハンドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。

お好みの高さに調整して、六角レンチでステムのボルトをしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意:

ボルトをしっかりと締め付けた後、ハンドルが左右に動かない事を確認してください。

※組立完成品をご購入のお客様も写真のボルトをゆるめ、ハンドルをお好みの高さに調整することができます。



フレームに結束バンドで止められた前かごステイを外します。



ブレーキレバーを握って確認してください。
○調整する度にブレーキレバーを握ってリムとブレーキシューの隙間を確認してください。



ブレーキの調整は、ブレーキシューとリムとの隙間が、左右1mm程度が理想的です。



ブレーキシューとタイヤが擦れている時は、シューの高さを調整してください。



タイヤ、泥除け、前かごステイが擦れていないことを確認して、各部のネジを付属の工具で増し締めしてください。

ハンドル[A]の部分のネジをゆるめるとハンドル角度の調整が可能です。お好みの角度に調整した後、再度しっかりと締め付けてください。

- ① 初期出荷状態では、ハンドル角度は標準の位置で取り付けられています。
- ② 角度調整をしない場合でも、必ずネジにゆるみがないか確認してください。



タイヤにブレーキシューがあたる・左右バランスが悪い時は **P12 ブレーキ調整方法へ**

サドルの取り付け

○サドルを差し込み、高さを調整した後固定ボルトをしっかりと締め付けてください。



⚠ 注意：ボルトをしっかりと締め付けた後、サドルが左右に動かないことを確認してください。



⚠ 注意：サドルの引き上げ限界線が見えない位置まで必ず差し込んでください。サドルの折れや抜けにより事故の原因になるおそれがあります。

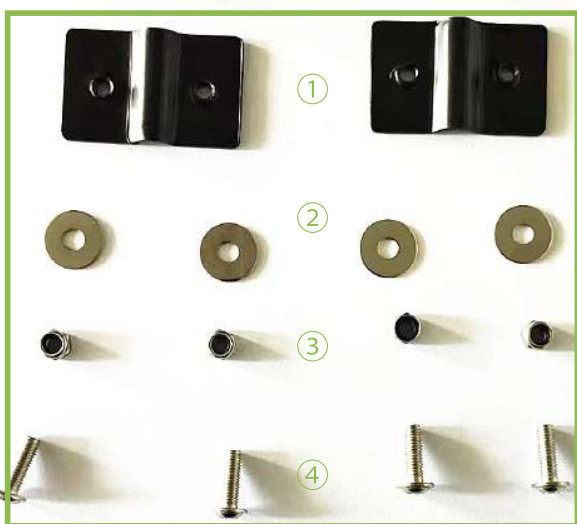
前カゴの取り付け

〈部品袋内容一覧〉



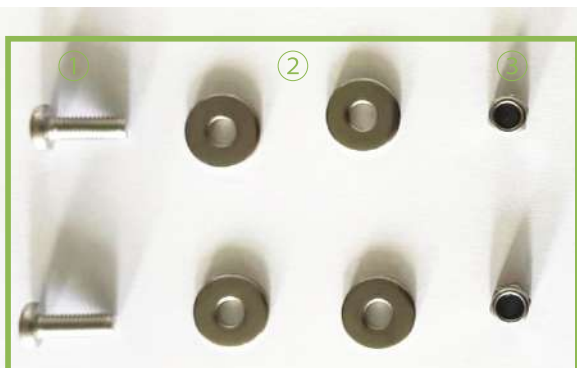
〈前輪用部品〉 ※予備用

- ①前輪ハブキャップ×2
- ②前泥除け固定ネジ用キャップ×1
- ③ハンドルステム保護キャップ×1



〈カゴ底面用〉

- ①板ナット×2
- ②16mm厚さ1mmワッシャー×4
- ③緩み防止ナット×4
- ④16mmネジ×4



〈カゴ側面用〉

- ①14mmネジ×2
- ②14.5mm厚さ2mmワッシャー×4
- ③緩み防止ナット×2

前カゴの取り付け

《前カゴの底面》



【内側】

④に②を通し、外側の①のネジ穴に合わせて締めて下さい。

【外側】

①でステイを挟み、④を締め終えた後に③で留めて下さい。

《前カゴの側面》



【内側】

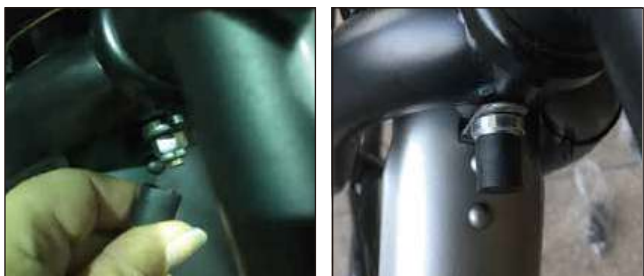
①に②を通し、ステイに合わせて締めて下さい。

※カゴとステイ板にすき間が出る場合はステイのネジを緩めて角度調整して下さい。

【外側】

ステイから出る①の先端に②を通し、③で留めて下さい。

《前泥除け固定ねじ用キャップ》

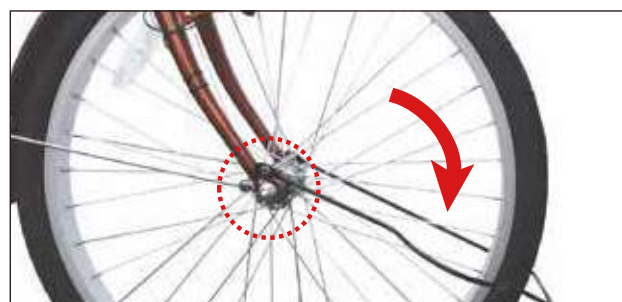


泥除けを固定してから、ネジの先端に前輪用部品②を付けて下さい。



前カゴを取り付けないときは、ステイを外してください。

前カゴを取り付けないお客様は、前輪の両側から出ている前カゴ固定用ステイ(カゴ底面)を必ず外してください。左右のネジがゆるみ、前カゴ固定用ステイが前輪に巻き込み、**事故やケガをする危険**があります。





かんたん
ワンポイント
ガイド

- タイヤがいつもより重く感じる。
- いつもブレーキがかかっているような感じがする。

Vブレーキの調整方法

Check-1



ブレーキシューとリムの確認

- 前輪を回して、ブレーキシューとリムとの隙間が空いているかを確認してください。
- ※隙間がないとブレーキが、かかった状態になっています。

Check-2



プラスドライバーで隙間調整

- プラスドライバーを使って、調整しましょう。
- ネジを締めると締めた側の隙間が広くなり、反対側は隙間が狭くなります。
- ※少しずつ調整し、一度に締め過ぎないで下さい。

Check-3



反対側からの隙間調整

- 締め込んでも隙間が出来ない場合は、反対側の調整ネジをゆるめてみてください。

Check-4



ブレーキレバーを握って確認

- 調整する度にブレーキレバーを握ってリムとブレーキシューの隙間を確認してください。

Check-5



左右リムの隙間を確認

- 左右に約1mm程度の隙間があるのが理想的です。
(車輪を回してブレーキシューとリムとの隙間が空いていて、レバーが握りやすければ大丈夫です。)



ご使用前大切な2ヶ所のブレーキ最終 チェック!!

※ご使用される前には、必ず確認をしてください。(事故につながる恐れがありキケンです。)

《ブレーキレバー側ワイヤ》



※正しい状態

ワイヤがブレーキレバーの根元にしっかりと入っていないと前輪ブレーキのフックが外れてしまいブレーキが効かなくなります。



※危険な状態

危険な状態では、
ブレーキが効きません!

《前輪タイヤ側ワイヤ》



※正しい状態

ワイヤがタイヤ側のワイヤのジョイントにしっかりと入っていないと前輪ブレーキのフックが外れてしまいブレーキが効かなくなります。



※危険な状態

※ブレーキは、安全に自転車に乗るためには、欠かせない一番大切な部品です。乗る前点検を心がけましょう。

ペダルの取り付け

この面に刻印があります。



(R) (L)
右 左

右足側→R の刻印
左足側→L の刻印

取り付けの際は、下記の説明を確認しながら正確に取り付けてください。また、ペダルは車体に向かってまっすぐに取り付けてください。

※右ペダルの取り付け方



(R) の刻印のある
ペダル

※右ペダルは、**時計回り**に取り付けてください。

※左ペダルの取り付け方



(L) の刻印のある
ペダル

※左ペダルは、**時計と逆回り**に取り付けてください。

注意 ペダルが入りにくいときは無理をせずに、再度左右を確認してください。無理矢理ペダルをねじ込んで装着しますと、大変不安定になるだけでなく、クランクのネジ山が削れてペダルが脱落し、大変危険です。また、クランクの修理も不可能になりますので、十分にご注意ください。
※ペダルの取り付け不良による故障は、初期不良期間中（お届け日から8日間）でも有償での修理となります。

ホイールロック (防犯ロック) について

《この自転車は、後輪部分 (後輪ブレーキ部) にホイールロックが取り付けられているタイプです。》

◆防犯ロックの仕方



後輪ブレーキ
ホイールロック

① 後輪のブレーキ部分にホイールロックが取り付けられています。



② ホイールロックのカバーを横に開くと鍵穴が出てきます。



③ 鍵穴に鍵を差し込んで反時計回りに回すとロックします。
時計回り(右) → 開錠 / 反時計回り(左) → 施錠



※ロックして鍵を抜いた後、タイヤを少し回してカチッと音がすれば後輪がロック状態となります。

注) このロック錠は特殊な構造の為、破損や故障、鍵の紛失をした場合には、ロック錠ごとすべてのお取り換えとなります。お取り換えはメーカーにおいて有償対応となりますのでご交換をご希望される方は「Santasan」までご連絡ください。また、鍵の紛失には、十分にお気をつけてください。

主電源の「オン／オフ」

◆バッテリーの電源を入れる。

バッテリー上側面にあるスイッチが主電源です。「I」マークが「オン」・「O」マークが「オフ」です。

① パネル電源の「オン／オフ」

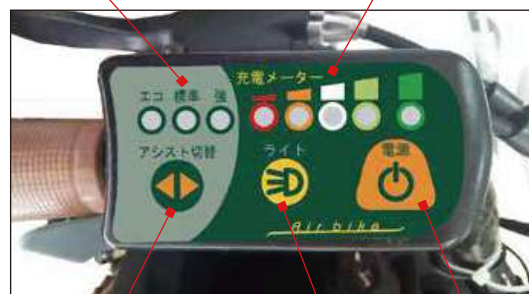
左ハンドルにあるスイッチパネル(残量計)は電源ボタンを押すごとに「オン」と「オフ」を繰り返します。
※バッテリーの主電源がオフの状態では、パネルの電源は「オン」に出来ません。

② ライト(前照灯)の「オン／オフ」

手元メインスイッチがオン(入)になっているときにライトボタンを押すとライト(前照灯)が点灯します。もう一度押すとライト(前照灯)が消灯します。

③ 走行モードの表示と切り替え

走行モードランプ バッテリー残量計表示ランプ



走行モード切替ボタン ライトボタン 電源ボタン

モード	アシスト〈力〉	
強	高	発進時や急な坂道を走行するときに使用すると楽です。
標準	中	平坦な道やゆるやかな坂道などで使用します。
エコ	低	できるだけ長い距離を走りたいときに使用します。(節電モード)

トルクセンサーについて

この自転車は、トルクセンサー搭載タイプとなります。人がペダルを漕ぐときに生じる力をセンサーが感知して、モーターに補助的な力を加える(アシスト)ことで快適に乗ることができます。ペダルを漕ぐ力を感知する為、発進時や坂道の途中から発進する際、特に性能を発揮します。

停止からの発進



急な坂道での発進



■注意事項① ただし、次のようなときは電動アシストが動きません。

※速度が24km/h以上のとき

24km/h以下でも平坦な道等で、ペダルに負荷があまりかからない道路ではアシストが働かない場合があります。

※バッテリー残量がなくなったとき

バッテリー残量がなくなると、アシストは動きません。普通の自転車と同じ状態になります。

■注意事項②

ペダルを漕ぐ力を感知するため、けんけん乗り(片足でペダルを漕ぎながら助走してサドルにまたがる乗り方)はしないでください。急発進してしまい、転倒や接触によりけがや事故のおそれがあります。サドルにまたがってから、ゆっくりとペダルを漕いでください。

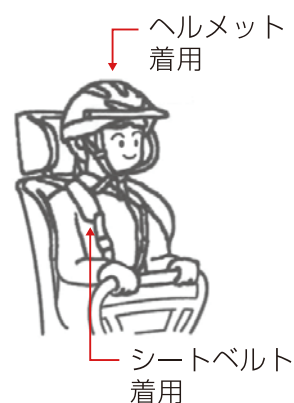
チャイルドシート(別売)をご使用になるときは、次の点にご注意ください。



警告

取り付けの前に下記条件を満たしているかご確認ください。

- 両立スタンドが装備されていること。(乗せ降ろし時の安定のため)
- リヤチャイルドシートを使用するときは、ドレスガードが装着されていること。
(車輪への巻き込み防止のため)
- チャイルドシートが確実に自転車に固定され、破損していないことを確認してから使用してください。
- リヤチャイルドシートはそれぞれの取付説明書に従い、できるだけサドル寄り(前方)に取り付ける必要があります。取り付け位置がリヤキャリアの後ろに出っ張ると、走行安定性が悪くなったり、無理な力が加わり壊れやすくなります。
また、自転車の前側が浮き上がりやすくなる場合がありますのでご注意ください。
- 不意の衝突や転倒の衝撃からお子様を守るため、同乗させるお子様には必ず自転車用の幼児用ヘルメットを着用させてください。
- お子様を同乗させる場合、車輪などの可動部に触れさせないでください。車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
- チャイルドシートは、適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。
- チャイルドシートの取扱説明書をよく読んでご使用ください。
- チャイルドシートを装着し、お子様を同乗させると、車体にふらつきが出てハンドルをとりやすくなるため、自転車に乗りなれてからの同乗をおすすめします。



強制

- シートベルトを着用して、お子様がチャイルドシートから落ちないようにしてください。
- お子様の乗せ降ろしは地面が平らな場所で行ってください。
- お子様には靴を履かせてチャイルドシートに乗せてください。



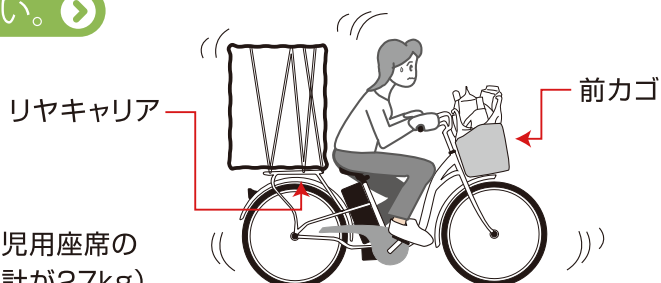
禁止

- お子様を乗せた自転車が倒れると、お子様が地面にぶつかり、けがの危険がありますので、決してお子様を乗せたまま駐車したり、自転車から離れないでください。
- 本機種は幼児2人同時乗用自転車ではありませんので、前にチャイルドシートを取り付けしないでください。



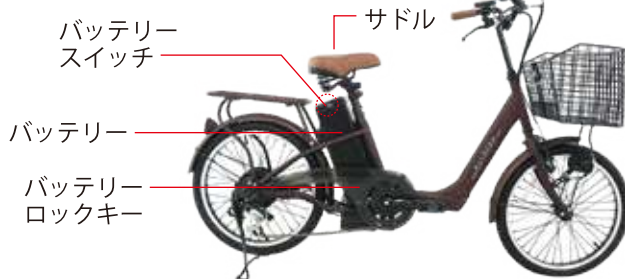
荷物を載せるときは、積載条件を守ってください。➡

- 前カゴ：
最大積載量 3kg
- リヤキャリア：
最大積載量 27kg
(このリヤキャリアに幼児座席を取り付ける場合は、幼児用座席の質量とその幼児用座席が指定する最大適用体重との合計が27kg)



① バッテリー充電前の準備 (バッテリーの取り出し)

◆各部の名称



電動アシスト自転車は、充電が必要な商品です。



1. バッテリーロックキーに鍵を差し込みます。



2. バッテリーロックキーを左に回し、ロックを解除します。



サドル下のレバー



3. サドル下のレバーを押さながら、サドルを前に倒します。

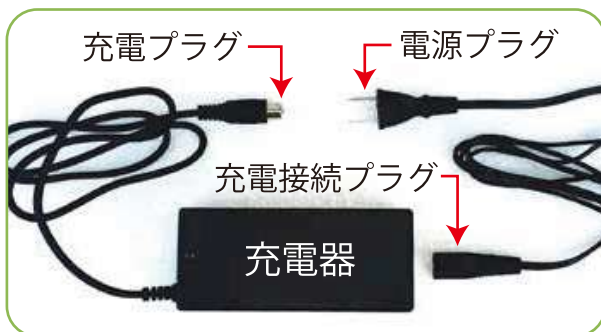


4. バッテリーの取っ手を持ち上げます。

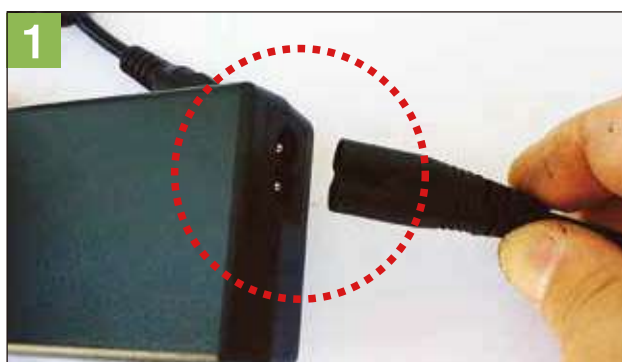


5. バッテリーを上(矢印の方向)に引き上げ取り出します。

② バッテリーを充電



ー 充電器とバッテリーを準備 ー



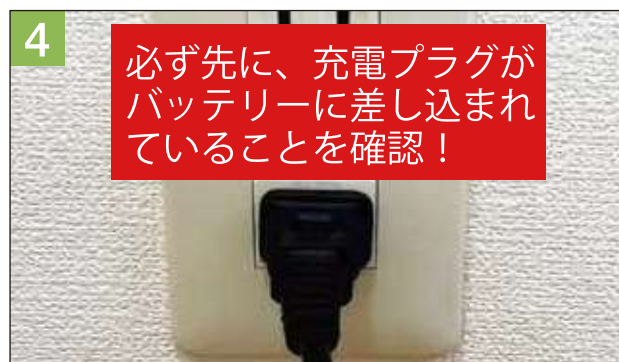
1. 充電接続プラグを充電器に差し込みます。



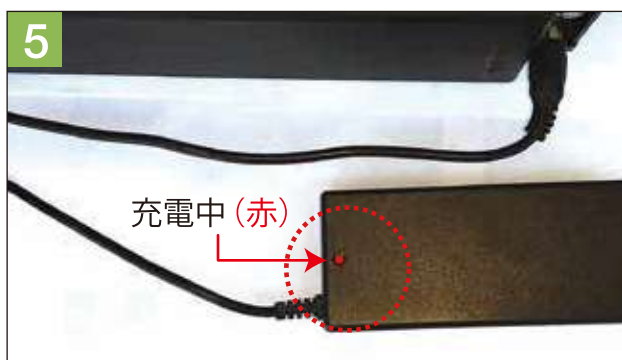
2. 充電プラグをバッテリーの充電ジャックに差し込みます。



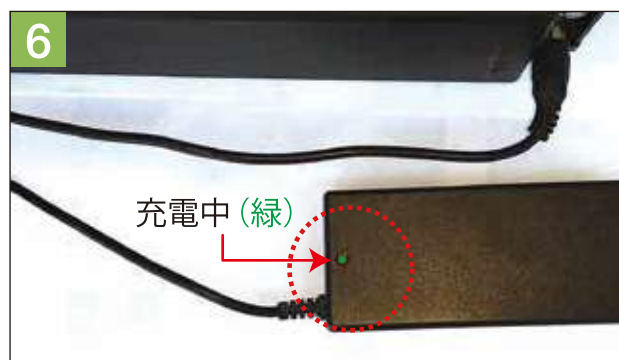
3. 奥までしっかりと差し込んでください。



4. ご家庭のコンセントに電源プラグを差し込みます。(*手順に注意してください。)

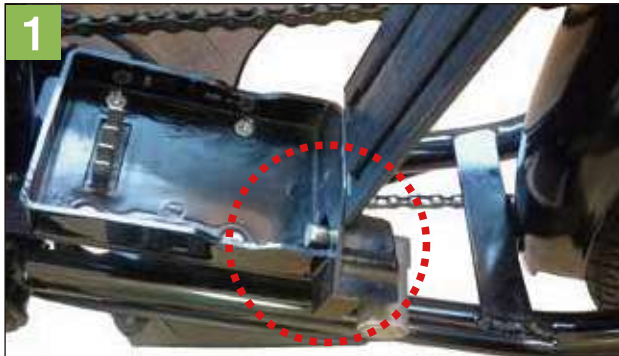


5. 充電中は、(赤)のランプが点灯します。

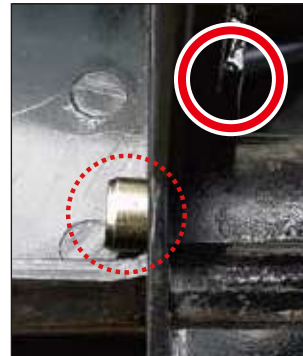


6. 充電完了に近づくにつれて、(赤)のランプから(緑)のランプ点灯に変わって充電完了です。

③ 充電後バッテリーを自転車本体に装着



1. バッテリーロックキーが解除されている事を確認してください。



ロックを解除した状態



ロックがかかっている状態



2. バッテリーをガイドに沿って矢印の方向に装着します。



3. バッテリーロックキーを右に回しロックします。

電源のON・OFFと残量計について

①電源スイッチをONにしてから②残量計の電源ボタンを押すと電源が入ります。残量計は常時点灯はいたしません。必ず電源をONにしてご確認ください。残量がなくなってくると消灯していきますので、充電を行ってください。



①電源スイッチ



②残量計/電源ボタン

※バッテリーに関する注意事項

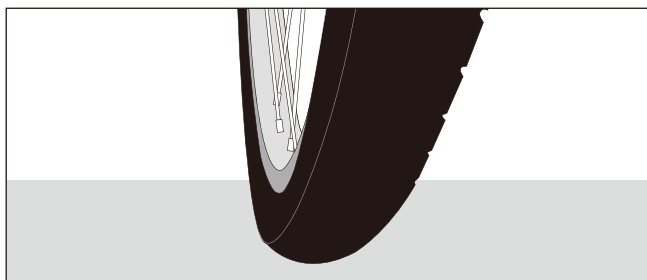
- バッテリーは重量があるので、お取り扱いには十分お気をつけてください。
- 充電完了の合図になりましたら、早めに充電器をコンセントから外してください。
- 残量計の点灯が少ない場合は、早めに充電を行ってください。
- 専用の充電器以外でバッテリーを充電しますと、バッテリーの発熱・破損・発火の原因になります。専用充電器以外は、絶対に使用しないでください。
- 専用充電器を水没させたり、雨中に放置しないでください。濡れたままで使用になりますと、火災の原因となり大変危険です。また、充電中にバッテリーを破損させることがあります。
- 充電する場所は、下記の場所を選んでください。また、屋外での充電には注意してください。安定がよいところ、水に濡れないところ。直射日光を避け、風通しがよく湿気のないところ。
- 充電ができなかったり、充電しても電源が入らない場合は、故障の可能性がありますので、販売店にご相談ください。

バッテリーの取り外し・取り付け方法及び、充電方法は P17～P19 を参照してください。

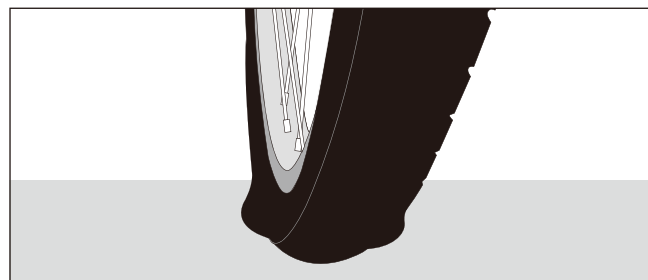
タイヤの空気圧について

タイヤの空気圧が減った状態で走行するとタイヤに負担がかかり、タイヤの消耗やチューブの劣化が早くなります。自転車に乗る前に、こまめに空気圧の確認をしていただき、減っているのであれば空気ポンプ空気をお入れください。(タイヤの消耗を軽減する事ができます。)

※特に後輪側は、リヤキャリアに後ろカゴやチャイルドシートを取り付けるとタイヤに負荷がかかりやすくなりますので空気圧のチェックは怠らないようにしてください。



空気がしっかり入っている状態



空気が抜けた状態

走行距離に影響を与える状況・環境

○1回の充電による走行距離は、下記の状況や環境により左右されます。

冬季や寒いとき (寒い環境・5℃以下では、バッテリーの性能が低下します。)	急な坂道のとき	向かい風のとき	タイヤの空気圧が低下しているとき。
乗員体重、積載重量(荷物)が重いとき	発進・停止の回数が多いとき	路面状況が悪い(凹凸道)のとき	ペダルが重くなる走り方をしたとき。 (例えば、重い変速位置での走行)
			ライトを長時間点灯したとき。

商品がお手元に届きましたら

まずは商品の状態を確認してください。お届けには万全を期しておりますが、商品の不具合や欠損がないか、必ずご確認ください。

(お客様のご都合により、開封が遅れた商品への対応はいたしかねますので、予めご了承ください。)

初期不良について

初期不良のご申請期間は、商品到着日より8日間とさせていただきます。商品到着後、何か不具合等がございましたら、まずは販売店までご連絡ください。修理もしくは交換という対応をさせていただきます。ご返送方法や詳細につきましては、販売店までお問い合わせください。

保証の適用除外

- 保証期間が経過している場合。
- 使用者の不注意、使用方法に起因する不具合や消耗品である場合(バッテリーの経年劣化を含む)。**
- 改造された場合。
- 衝突／転倒／道路の段差への乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
- 法令の違反行為(最大積載量オーバー、2人乗り等)によって生じたもの。
※後輪にハブステップをつけての2人乗りによって生じた故障も保証適用外です。
- 保守／点検の不備または間違いによって生じたもの。
- 酷使または一般に自転車が行かない場所での走行により生じたもの。
(道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等)
- 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- 手入れ不十分、保管場所の不備及び時間の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する部分の不具合、もしくはプラスチック部品等の自然退色、**部品の通常の磨耗または疲労**と認めたもの。(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
- くぎ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。**
- 一般に機能上の影響のない感覚的症状。(音、振動等)
- その他販売店の判断に基づき有料と認められる場合。

「自転車防犯登録」について

ご購入後の盗難に関する責任は弊社では一切負いかねますので、防犯登録はお客様の責任において行ってください。自転車防犯登録は都道府県毎ごとに管理されております。お近くの自転車防犯登録所(自転車販売店、ホームセンター等の自転車を販売しているところ)において、自転車本体、身分証明書・弊社の納品書をお持ちいただき、自転車防犯登録を行ってください。(販売証明書を同封していますのでご利用ください。)

※必ず商品の検品をしてから防犯登録を行ってください。万が一防犯登録後に不良などにより返品される場合は、返品前に防犯登録の解除をお願いすることになります。

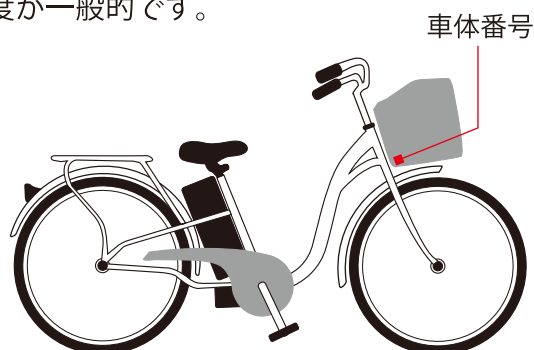
※料金は各地域によって異なりますが、500円～1,000円程度が一般的です。

※車体に刻印されている車体番号は控えを取り大切に保管してください。

※車体番号は各自転車固有のものです。紛失されましても、弊社ではお調べすることができません。

※車体番号が読み取りづらい場合は、型(20インチ電動アシスト自転車等)として登録を行うことが可能です。

※bicycle-209assistの車体番号は、フロントフォークのヘッド部分に記載。



お求めいただきました自転車には、5年間の安心修理サービス(有償)が付いております。

当店だけの購入特典！ 5年間安心修理サービス

点検メンテナンス、故障メンテナンスを承ります。

『安心の特別価格でご修理いたします!』

修理費 一律 8,000円 + 往復送料

◎どのような不具合も一律料金のため、安心して修理にお出しください。

※メンテナンス用部品は単品販売も承っています。

- ・修理の自転車を弊社指定場所へお送りいただきます。
 - ・弊社へお送りいただく送料及び弊社よりご返却の際の送料は、お客様のご負担となります。
 - ・お送りいただく際の商品の梱包は、お客様の梱包材による梱包となります。
- ※商品をお届けした際の外箱は保管していただきますと、安心修理サービスご利用の際にもお使いいただけます。 (下記をご参照ください。)

■安心修理サービスの流れ

- (1) まずは、お客様からメールでご連絡ください。その際、お手元に自転車ご購入時の購入店舗名やご注文番号と、お客様のお名前(フルネーム)をご用意いただきますと対応がスムーズになります。
 - (2) 症状をお聞かせください。受付番号と返送方法をご案内いたします。
 - (3) 案内に沿って、自転車をご返送ください。
 - (4) 修理・点検・整備完了後、自転車をお手元にご返却いたします。
- ※修理費に関しましては、発送前のお支払いもしくは自転車到着時のお支払い(代金引換)でお願いしております。

※故障箇所によっては特殊な部品の手配が必要となるため、修理に1ヶ月以上かかる場合もございます。

※修理と併せて点検も行わせていただきます。消耗品等に関しましては、お取り換えをご案内させていただくこともございます。(消耗品は修理費と別に有償となります。)

※弊社からのご購入ではなく、正規販売店様よりお求めのお客様の修理に関しましては、保証書(説明書最終ページ)を弊社にご提示いただき、弊社での修理も承っておりますが、まずはお求めのショップ様へお尋ねください。

■メンテナンス用部品の単品販売

バッテリー、タイヤ、チューブ等のメンテナンス部品は別途単品販売を行っています。

お求めいただく際、自転車ご購入店舗名や注文番号とお名前(フルネーム)、ご希望部品名をお聞かせいただけますと対応がスムーズになります。

部品名がご不明の場合はお写真や動画を撮ってお送りください。

お届け時の外箱(段ボール箱)に関しまして

- お届けの際に、商品が入っていた外箱(段ボール箱)は、万が一初期不良が発生した場合、返品に使用していただく箱となります。お届けから8日間の申請期間中は、必ず保管していただきますようお願いいたします。
- 外箱なしでご返送いただきました場合、修理完了後(もしくは交換の際)弊社で外箱の用意もしくは梱包をして、返却いたします。その場合は、梱包代(500円~1,000円)をご負担いただきますので、ご理解とご了承をお願い申し上げます。
- 初期不良期間以降の不具合修理で輸送を行う場合も梱包が必要です。お届け時の外箱は処分されないことをおすすめします。

Santasan 自転車5年間安心修理サービス保証書

商品名：bicycle-209assist 電動アシスト自転車 有効保証期間：ご購入より5年間

お客様 住所 〒

お名前

お電話

様

ご購入日： 年 月 日

正規販売店 ※正規販売店とは **Santasan** (日本タイガー電器株式会社) と正式な契約をしている販売店のことです。

印

※保証をご希望される場合、**Santasan**(メーカー)にて直接ご購入いただいたお客様は、本保証書と自転車購入の際の納品書で対応が可能です。**Santasan**(メーカー)以外の正規販売店でご購入いただいたお客様は、正規販売店欄に必ず店印が必要になります。尚、正規販売店の店印がない場合や正規販売店以外でご購入いただいたお客様は保証対象外となります。この保証書と納品書は、大切に保管してください。

この保証書は、本書の示した期間、条件のもとにおいて修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がございましたら販売店までご連絡ください。

商品仕様

品番／型番	bicycle- 209assist	原 産 国	Designed in Japan Made in China
車体カラー	ブラック・ホワイト・ブラウン・ベージュ	材 質	スチールフレーム
電 源	充電式鉛バッテリー×1 (24V7AH)	充電時間	5～8時間
全 長	1645mm	全 幅	570mm
重 量	23.2kg (バッテリー含まず)	バッテリー重量	5.6kg
走行距離の目安	約25km (積載重量60kg／満タン充電時／標準モード走行) ※基準測定方式での目安であり、走行状況や環境によって大きく異なります。 ※パワーモード(強)での走行は、走行距離目安より大幅に減少します。		
補助速度範囲	24km/h 未満		
体重制限	85kg		
性能／機能	・アシスト／電源を切って普通自転車としても走行できます。 ・20インチHEタイヤ・高光度白色LEDライト ・米式バルブ (米式の空気入れをご使用ください)		
付属品	・充電器・工具・取扱説明書・ペダル・サドル・鍵(2種4本)・返品カード・販売証明書 ※お届け後、お客様にて簡単な部品取り付けが必要となります。 ※付属していない工具は、お手元でご用意ください。		
その他	・ご使用の際には、付属の説明書を必ずお読みください。		

ご購入後のサポートは、こちらへ 

説明書や動画をご覧くださいても分からない場合は、お気軽にお問い合わせください。

メール：santasan@santasan.net

電 話：050-2018-2475 [平日 10:15-15:00]

F A X：072-672-7674 [24時間受付]